

ひとり親とこどもたちが
生きやすい社会の実現を目指して



JSPF Annual Report 2024

特定非営利活動法人

ひとり親家庭サポート団体全国協議会

2024 アニュアルレポート

JSPF

For one parent

ひとり親と子どもたちが、生きやすい社会の実現を目指して。



わたしたちはひとり親家庭を支援している団体が集まり、情報交換し、学び、ひとり親と子どもたちが生き生きとその力を発揮できるような社会実現のため提言しています。

これまで、児童扶養手当の改善や、税制の改正などに取り組んできました。

2024年は、ひとり親家庭日常生活支援事業の調査に取り組み、ほとんど機能していないことを公表し、結果として改善が行われました。

物価高やこどもの不登校など、コロナ禍で受けたダメージを回復できないまま、多くのひとり親家庭は厳しい生活をしています。わたしたちは、ひとり親と子どもたちの声を社会に発信し、よりよい社会をつくるために力を尽くします。

理事長 赤石 千衣子

ひとり親家庭サポート団体全国協議会(JSPF)について

日本のひとり親家庭は約135万世帯(2021年全国ひとり親世帯等調査結果)。その相対的貧困率は48.1%と先進国の中でも非常に高く、経済的な問題のみならず、就労、生活、子育て、教育、そして社会からの偏見などさまざまな困難に直面していることが指摘されています。また仕事と子育ての両立の大変さがあり、子育ての時間もなかなかとれず、子どもたちにもさまざまなしわ寄せが来ています。しかし、ひとり親と子どもたちの声は社会に届きにくく、社会的支援も不足している状況です。わたしたち「特定非営利活動法人ひとり親家庭サポート団体全国協議会」(2025年9月1日現在38団体加盟)は、ひとり親家庭をサポートしている全国の団体が力を合わせ、このような問題に取り組んでいます。

わたしたちは、当事者であるひとり親と子どもたちの声を大切にしながら、ひとり親と子どもたちが生きやすい社会の実現を目指し、次のような活動を行っています。

私たちの活動内容

団体支援

ひとり親家庭の支援をする団体への活動支援・連携

ひとり親家庭の支援団体が各都道府県にあり、ひとり親家庭がどこにいても相談支援を受けられるようにするために、既存の団体とつながり、あるいは支援団体を立ち上げを応援し、また加盟団体がよりパワフルに支援が行えるように基盤強化支援を行います。

調査・ 政策提言

ひとり親家庭の声を、国や自治体に届ける

ひとり親家庭の声はまだ社会に届いていません。ひとり親と子どもたち、また、支援制度や自治体への調査を行い、その声を国や都道府県、自治体に届けています。毎年、ひとり親家庭サポート団体全国協議会が行っていく行動計画・政策提言の文書を発表をしています。

人材育成

支援の担い手を増やす

ひとり親家庭の支援に関する人材育成等の事業を行い、団体内の担い手育成を行うとともに、担い手による団体立ち上げのきっかけをつくります。



& their children.

You are not alone.

VISION

ひとり親と子どもたちが多様な家族として尊重され、
ゆたかにつながることができ、力をはぐくむことができ、
安心して挑戦し、自由に未来を選択できる社会

MISSION

01

ひとり親と子どもたちの生活が向上するために、
ひとり親と子どもたちの声を受け止め、
自治体、市民、様々な機関と協働します。

02

ひとり親と子どもたちが身近なところで支援を
受けられるように、ひとり親と子どもたちの声を
大切にする支援団体が全国各地にできるよう
団体の発足・組織力の向上を支援します。

03

ひとり親と子どもたちの支援団体が孤立せず、
連携・共同できるように
情報共有の場を提供します。

04

支援にかかわる人々が、
孤立し疲弊することのないよう応援し、
活力ある支援者を増やします。

05

ひとり親と子どもたちへの差別をなくし、
すべての人が生き生きとくらせるよう
ひとり親家庭が多様な家族のひとつのかたちで
あることを周知します。

06

ひとり親家庭の状況を正確に調査し、
公表し、発信し、エビデンスに基づいた
政策実現に寄与します。

History

わたしたちの歩み [これまでの道のり]



キックオフミーティング(2019年7月)

- 2019** 7月 シングルマザーサポート団体全国協議会20団体で発足、キックオフミーティングを東京で開催
11月 院内集会「ひとり親世帯の子どもたちはなぜ貧困なのか ～不公平な寡婦控除、税制の見直しや養育費未払い問題の早期解決を～」開催
12月 国会議員と税制調査会に働きかけ、寡婦控除を差別のないひとり親控除へと実現が決定
- 2020** 3月 新型コロナウイルス感染拡大(～2022年) 各団体が生活支援、食料支援を始める
- 2022** 11月 「物価高に苦しむひとり親の暮らし調査結果」についての記者発表を行う
12月 院内集会「ひとり親家庭の子どもたちを助けてください! ～養育費が払われない 物価高! コロナによる減収!～」を開催
- 2023** 5月 緊急声明「少子化対策は子どもの貧困対策を置き去りにしてはならない」を発表
7月 シングルマザーサポート団体全国協議会第5回大会を金沢市でハイブリッドで開催
12月 特定非営利活動法人ひとり親家庭サポート団体全国協議会設立総会開催
- 2024** 4月 特定非営利活動法人ひとり親家庭サポート団体全国協議会東京都より認証
8月 夏の酷暑調査を発表
9月 特定非営利活動法人ひとり親家庭サポート団体全国協議会大会を東京で開催、日常生活支援事業調査の結果を発表
- 2025** 1月 「ひとり親家庭支援者養成講座」を開催



税制調査会へ働きかけ(2019年12月)



山口市での大会で企画したワークショップ(2022年7月)



石川県金沢市での大会のようす(2023年7月)



東京都での大会のようす(2024年9月)

to be Continued



Report

活動報告 1 [活動支援事業]

各地のひとり親家庭支援団体の
活動支援を行っています。

団体数

33団体

(2024年7月)



38団体

(2025年7月)

全国各地で、ひとり親家庭を支える団体が、食の支援、学習支援、交流会、就労支援、訪問支援、こどもの居場所支援、面会交流支援など行っています。JSPFは、ひとり親家庭支援をしている団体の参加を歓迎します！



北陸／甲信越

NPO法人えがおプロジェクト(富山)
NPO法人シンママ応援団(石川)
女性の社会生活活動部フルード(福井)

中国／四国

認定NPO法人ハーモニーネット未来(岡山)
NPO法人オカヤマビューティサミット(岡山)
NPO法人こどもステーション(広島)
.style (ドットスタイル)(山口)
しんぐるまざあず・ふぉーらむ出雲(島根)
ひとり親パートナーズ(NPO法人子育てネットひまわり)(香川)
しんぐるまざー交流会 あまやどり(新居浜)(愛媛)
シングルマザー交流会松山(愛媛)

九州／沖縄

特定非営利活動法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ福岡(福岡)
一般社団法人 スマイルキッズ(佐賀)
一般社団法人ひとり親家庭福祉会ながさき(長崎)
一般社団法人熊本市母子寡婦福祉連合会(リリオブランコ)(熊本)
宮崎ひとり親家庭支援ネットワーク(宮崎)
しんぐるまざあず・ふぉーらむ沖縄(沖縄)



北海道

特定非営利活動法人ひとり親とこどもふぉーらむ北海道(北海道)

東北

認定特定非営利活動法人インクルいわて(岩手)
特定非営利活動法人クローバーの会@やまがた(山形)
認定NPO法人STORIA(宮城)
特定非営利活動法人mia forza(宮城)

関東

特定非営利活動法人ママピアテラス(栃木)
特定非営利活動法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ(東京)
立川市ひとり親家庭福祉会 立川みらい(東京)
特定非営利活動法人シングルマザーズ・シスターフッド(東京)
一般社団法人シンママラボ
特定非営利活動法人ひまわり(神奈川)

東海

シングルペアレント101(静岡)
認定NPO法人LivEQuality HUB(リブクオリティ・ハブ)(愛知)
ひとり親ピアサポート団体「ひとり親Cheers」(岐阜)
シングルマザーとその子どもたちの会~freely~(岐阜)

関西

NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ・関西
シングルマザーのつながるネットまえむきIPPO(大阪)
NPO法人あつとすく(大阪)
NPO法人こどもサポートステーション・たねとしずく(兵庫)
認定NPO法人女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ(兵庫)
しんぐるまざあず・ふぉーらむ・神戸ウエスト(兵庫)



JSPFは毎月の情報交換会、団体運営こまりごと解決支援、チャレンジプログラム(団体基盤強化プログラム)で団体がさらに多くのひとり親へ質の高い支援を行えるようサポートしています。

Report

活動報告 2 [調査・政策提言]



当団体が調査に取り組んだ

「ひとり親家庭等日常生活支援事業」の単価が2倍に!!



調査のきっかけ

「ひとり親家庭等日常生活支援事業」をご存じですか？

母子家庭や父子家庭が、修学等や病気などで、一時的に生活援助や保育サービスが必要になった場合や、生活環境等の激変によって日常生活を営むのに支障が生じている場合に、自治体から家庭生活支援員を派遣してもらい、乳幼児を含むことのお世話や家事、医療機関との連携などを行ってもらえるという制度です。この事業は以前から「希望しても利用できない」「自治体でまったく利用されていない」といった声が当事者や支援者から上がっていました。そこで、ひとり親家庭の状況を把握し、制度自体の改善の方向を探るため、実施状況調査や自治体調査を行うことになりました。

調査方法

当団体の理事でもある森田明美東洋大学名誉教授が代表を務める「こども福祉研究所」にご協力いただき、また当協議会の加盟団体のうち13団体で調査設計や調査票の作成、調査の実施、集計、分析、報告書作成を行いました。調査期間は、2024年3月から8月にかけて。その間、21の自治体調査、11の事業者調査、1,576人の当事者調査、こども家庭庁調査を行いました。

調査結果から見た課題

90%のひとり親が子育て家事や子育ての手助けがなくて困ったことがあるにもかかわらずこの事業の当事者ニーズと利用実績数は2371人(2.9%)とあまりにも少なかったことがわかりました。背景には、制度の周知度の低さや、制度自体の使いにくさ、支援員の不足などがあげられました。

利用したことがある

2.9%



ひとり親家庭における
「ひとり親家庭等
日常生活支援事業」の
利用実績割合

利用したことがない

97.1%

>>> 令和7年の予算で「ひとり親家庭等日常生活支援事業」の単価が2倍に!

われわれの調査の後、令和7年に国の日常生活支援事業の国の助成単価が2倍になることが決まりました。単価が上がれば、参入してくる事業者が増えるなどといった効果が期待できます。とはいえ、依然として支援者不足やスキームの問題は残っている状況です。わたしたちは、ひとり親家庭にとってこの制度がよりよいものになるよう、各地域の団体と連携して制度自体の勉強会を開いたり、国や自治体への働きかけを続けていきます。今後も生活保護の自動車保有問題 窓口対応の問題など次々に調査に取り組めます!





活動報告 3 [人材育成]

「支援者養成セミナー」を開催し、 のべ306人が参加しました！

2025年1月から3月まで、オンラインで「ひとり親家庭支援者養成講座」を開催いたしました。計5回の講座には、全国各地でひとり親家庭の支援にあたる支援者、自治体職員、市議などさまざまな職種の方にご参加いただきました。また各回のアンケートには、思いのこもった感想もたくさんいただきました。「支援者養成講座」は、今後も毎年開催予定です。

第1回
1月9日(木)

ひとり親家庭支援について ひとり親家庭の現状と支援制度

行政説明・こども家庭庁

[講師] 赤石 千衣子 (NPO法人ひとり親家庭サポート団体全国協議会 理事長)

第2回
1月23日(木)

ひとり親家庭のライフプランと教育費

[講師] 平井 照枝 (特定非営利活動法人ひとり親とこどもふぉーらむ北海道 代表)

第3回
2月6日(木)

ひとり親になる前後の法律知識

[講師] 折井 純 (弁護士)

第4回
2月20日(木)

DV被害と女性への暴力

[講師] 種部 恭子 (産婦人科医)

第5回
3月6日(木)

こどもの人権とひとり親家庭支援

[講師] 森田 明美 (東洋大学名誉教授)

支援制度情報は複雑で難しく感じていましたが、今日はわかりやすくお話が聞けたことがよかったです。これからの講座で、未来をどうよくしていくために何ができるのかを考えていきたいです。(第1回)

知らないことがたくさんあり、とても勉強になった。ひとり親家庭は収入が少なく、困っておられる方が多いので、今回知ったことをもとに具体的な提案をしていきたい。(第2回)

こども目線を大切に、こどもと信頼関係ができるようにしてこどもの声をしっかり聴きたいと思います。そして、こどもが自分の意思を言えるような居場所を創出していけるようにしていきたいです。いろんな地域のおとなと出会い、見守ってくれるような居場所になっていきたいです。(第5回)

離婚前後の相談を多く受ける中で知識として知っておくとよいことをたくさん学べた。別居中の婚姻費用分担請求は早いほうがよい、請求は内容証明郵便がよいなど、具体的な実践的なことをたくさん知れたのでこれからの支援で生かしていきたい。(第3回)

Voice/ セミナー受講者の声

ひとり親家庭を支援していてよく感じるのが、まさに講師の先生がおっしゃる男女間の賃金格差、経済格差がDVを生む、離婚を阻む、そして、離婚後のひとり親家庭の貧困を増長する要因となっていることです。それらに加え、ジェンダーバイアスがジェンダーギャップにつながる話など共感する部分が多く、大変興味深い内容でした。(第4回)

国の予算を知ることができたので、市への確認と共に踏み出した意見交換をしていきたいと思いました。(第1回)

寄付のお願い

あなたも「はぐくみサポーター」に
就任しませんか？

わたしたちは、日本におけるひとり親と子どもたちの困難な状況を改善し、ひとり親家庭の福祉の向上をめざし、ひとり親家庭を支援する団体の活動を支援するとともに、調査研究・政策提言及び人材育成を行うことにより、ひとり親家庭をはじめ、すべての人々が生き生きと生きられる社会の実現に向けた活動を行っています。みなさまからの温かいご支援をお待ちしています。

寄付のお申込みはこちらから >>>

<https://congrant.com/project/jspf/17563>



加盟へのお願い

ひとり親家庭サポート団体全国協議会（JSPF）に
加盟しませんか？

当団体に加盟すると

- ✓ 月1回程度の情報交換会に参加できます
- ✓ 調査・政策提言に参加できます
- ✓ 支援者セミナーや、基盤強化のプログラムに参加できます
- ✓ 大会に参加できます

一団体ではできないことも、全国の団体が集まることで解決できることがたくさんあります。法人に加盟をご希望される団体は、以下よりお問い合わせください。必要書類などをご案内いたします。



特定非営利活動法人 ひとり親家庭サポート団体全国協議会

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-8 日本女子会館 OWL

理事長 赤石 千衣子